

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-4-5 環境保全の推進
---------	-----------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	廃棄物対策課長 近藤 一幸	電話番号	0852-22-6173
----------	---------------	------	--------------

事務事業の名称	市町村の3R施策推進事業		
目的	(1) 対象	市町村又は一部事務組合	
	(2) 意図	廃棄物の排出量削減、再生利用量の増加を実現するための効果的な施策を実施してもらう	
事業概要	一般廃棄物処理の実態を把握し、事業の推進に活用するために、市町村等に対して、処理の実態を調査・報告させ、集計・解析・評価を行う。		

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		26.00	26.00	26.00	26.00	26.00
		市町村・一部事務組合数	実績値	28.00	26.00	26.00	26.00		
			達成率		100.00	100.00	100.00		%
	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	
			実績値	0.00	0.00	0.00	0.00		
			達成率		0.00	0.00	0.00		%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	832	874
うち一般財源(千円)	832	874

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

すべての市町村・一部事務組合の協力を得て調査を行うことができた。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・県内の各市町村等が、他の市町村等のごみ処理の状況を把握しながら3Rの取り組みができるよう、県内の一般廃棄物処理の実態調査を行い、その結果を取りまとめて公表（県ホームページに掲載）した。
 ・調査結果は市町村における一般廃棄物処理施設整備のための計画策定に当たって活用されるなどごみ処理の目標設定に利用されている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

なし

②困っている状況が発生している「原因」

なし

③原因を解消するための「課題」

なし

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

引き続き、市町村等のごみ処理の状況把握に努める。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）